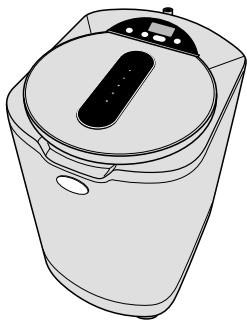
TOSHIBA

東芝全自動電気洗濯機（家庭用）
取扱説明書

形名 AW-303B

● このたびは東芝全自動電気洗濯機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
● この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
● お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。
● 保証書を必ずお受け取りください。

もくじ

安全上のご注意 必ずお守りください

●お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための安全に関する重大な内容を記載しています。つぎの内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

警告 「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷*1を負う可能性が想定されること」を示します。

注意 「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害*2を負うことが想定されるか、または物的損害*3の発生が想定されること」を示します。

＊1：重傷とは、失明や、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

禁止

⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。
具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

指示

●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

注意

△は、注意を示します。
具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

⚠ 警告

改造はしない 修理技術者以外の人は分解したり修理しない

火災、感電、けがの原因となります。
修理は、お買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。

分解禁止

電源は交流100Vで定格15A以上のコンセントを洗濯機単独で使う

電圧や定格が異なると火災、感電の原因となります。また、他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

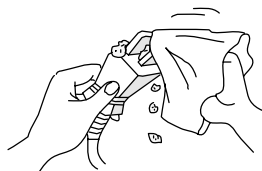
コンセントは専用で

電源プラグの刃および刃の取り付け面に付着したほこりはよくふきとる

ほこりが付着すると火災の原因になります。

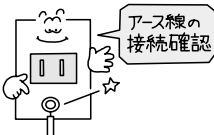
ほこりをとる

アース線が取り付けられているか確認する

故障や漏電のときに感電する恐れがあります。
アース線の取り付けは、電気工事店または販売店に相談してください。

アース線の接続を確認する

電源コードを傷めない

電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、金属部にかけたり重い物を載せたり、挟み込んだりしないでください。コードが破損し、火災・感電の原因となります。

傷つけ禁止

お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く

感電やけがをすることがあります。

プラグを抜く

⚠ 警告

浴室や風雨にさらされる場所には設置しない

感電や漏電による火災の原因となります。

水場での使用禁止

傷んだコードや電源プラグ・ゆるんだコンセントは使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。

使用禁止

電源プラグは、ぬれた手で抜き差ししない

感電やけがをすることがあります。

禁　止

プラスチック部には火気を近づけない

火災の原因になります。

火気厳禁

洗濯・脱水槽が完全に止まるまで中の洗濯物などに手を触れない

ゆるい回転でも洗濯物が手に巻きついてけがをすることがあります。
特にお子様には気をつけてください。

接触禁止

排水不良でないことを確認する

排水不良で洗濯機が水に浸かる状態で使用すると、漏電による火災や感電の恐れがあります。

排水確認

幼児に槽をのぞかせない

洗濯機の近くに台などを置かないでください。
洗濯・脱水槽の中に落ちてけがをしたり、おぼれることがあります。

禁　止

引火物は洗濯・脱水槽に入れない

ガソリン・灯油・ベンジン、シンナー・アルコールなどやそれらの付着した洗濯物は入れないでください。
爆発や火災の原因になります。

引火物禁止

子供など取り扱いに不慣れな方には使わせない

やけど・けがをすることがあります。

禁　止

本体各部に直接水をかけない

感電・ショートすることがあります。

水かけ禁止

⚠ 注意

電源プラグを抜くときはコードを引っ張らない

電源プラグを持って引き抜いてください。
感電やショートして発火する恐れがあります。

引っ張り禁止

長期間ご使用にならない時は電源プラグをコンセントから抜く

絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

プラグを抜く

洗濯機の上にのぼったり、重い物を載せたりしない

変形・破損によりけがをする恐れがあります。

上乗り禁止

除菌洗い（60℃）コースの洗い運転中は洗濯・脱水槽内部や洗濯物をさわらない

高温になっており、やけどをする恐れがあります。

接触禁止

（つづく）

⚠ 注意

洗濯の前に蛇口を開いて、給水ホースの接続部分の緩みや水もれのないことを確認する

ねじやホース接続などの緩みがあると水もれして思わぬ被害を招くことがあります。

水もれ確認

内ふたを閉める際に、衣類をはさまない

衣類が損傷したり故障の原因になります。
また、プラスチック部品が破損し、けがの恐れがあります。内ふたはカチッと音がするまで確実に閉めてください。

衣類をはさまない

防水性のシート、マット、衣類(※)水を通しにくい繊維製品は洗濯や脱水をしない

洗濯物が飛び出したり脱水中に異常振動し、けがをしたり、洗濯機、壁、床などの破損、衣類の損傷などの恐れがあります。
※サウナスーツ、雨ガッパ、釣具用上着・ズボン、スキーウェア、寝袋、オムツカバー、ウェットスーツ、自転車・バイク・自動車カバーなど。

洗濯禁止

運転中の洗濯機の下に手などを入れない

回転部があり、けがをする恐れがあります。

手などを入れない

廃棄処分をするときは、ふた・内ふたを取り外す

子供が閉じ込められる恐れがあります。

取り外す

お願い

脱水中、ふたを開けて15秒以内に洗濯・脱水槽が止まらないときは、すぐに使用を中止する

修理を依頼してください。
けがの原因になります。

後始末を忘れずに

（万一の水もれや火災を防ぐためです）

- 洗濯終了後、必ず水栓を閉じてください。
- 水をためて長時間放置しないでください。

運転中は洗濯・脱水槽に手を入れない

ゆるい回転でも洗濯物が手に巻きついてけがをする恐れがあります。

脱水中にふたを開けると、安全のため洗濯機が止まるまでブザーが鳴り続けます。

製品にカバーをされるときは

塩化ビニール製のカバーは樹脂部品や塗装面を傷めることがありますので、ご使用のときは、洗濯機の上部に布などをかけてからカバーをしてください。

結露について

気温が高く水温が低い場合には露つきが生じ（結露)、床面をぬらすことがあります。別売の「洗濯機トレー」（TZ-10）をご使用ください。

パネルに整髪剤・スプレー・液体洗剤・部分洗い洗剤などをかけたり、先のとがったもので押さない

部品の破損や故障の恐れがあります。

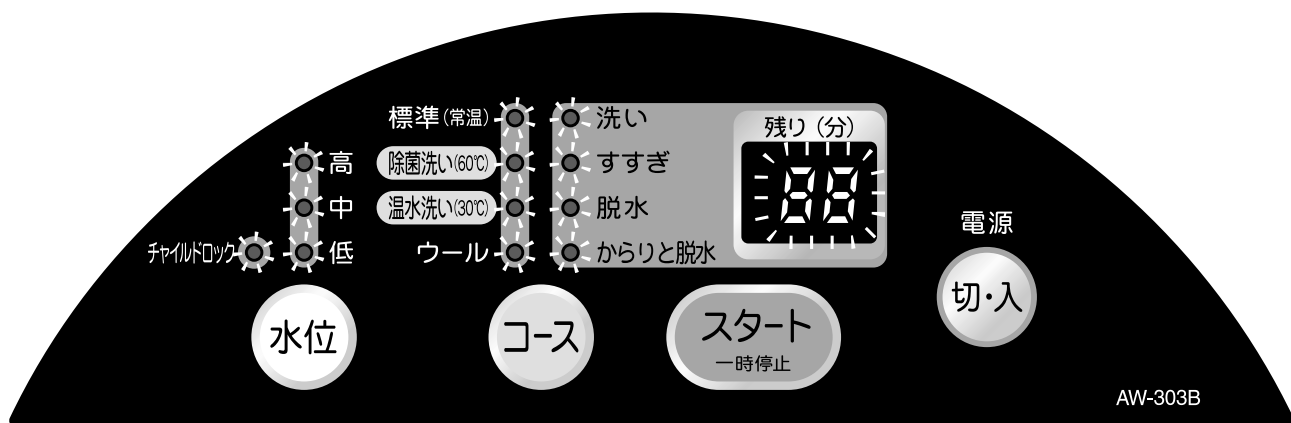
チャイルドロックについて　お子様がいらっしゃるご家庭に

⚠警告	幼児に槽をのぞかせない 洗濯機の近くに台などを置かないでください。 洗濯・脱水槽の中に落ちてけがをしたりおぼれることがあります。	禁　止

チャイルドロックは、幼児が誤って洗濯・脱水槽に落下した場合のことを考え、異常を音で報知すると共に運転を停止し、排水する機能です。

●チャイルドロックの報知ブザーが鳴った時は、ふたを開けて中を確認してください。

●チャイルドロックの動作について

- チャイルドロックが設定されている状態で運転中にふたを開けると、下記のように表示がすべて点滅してブザーが鳴り、運転が止まって、洗濯液を排水します。ブザーは電源を切るまで鳴り続けます。
- ふたを開けたままスタートすると、表示がすべて点滅してブザーが鳴り、洗濯液を排水する動作を行います。

チャイルドロック動作時の表示例

■チャイルドロックの設定

電源を入れて、 **を押しながら**

 を約３秒間押す

●水位の設定が変わるので設定し直してください。

ピッとブザーが鳴り、チャイルドロック表示が点滅します。

＊1度設定すると記憶されます。毎回設定する必要はありません。
電源プラグを抜くと設定が取り消されます。

■チャイルドロックの取り消し

スタートする前に水位を押しながら

 を約３秒間押す

●水位の設定が変わるので設定し直してください。

ピッとブザーが鳴りチャイルドロック表示が消灯します。

＊運転中は取り消しできません。
電源を切ってください。

各部のなまえ

■本体

ふ　　た

内　ふ　た

糸くず取りネット
P20

洗濯・脱水槽

パルセーター
（回転板）

調　節　脚
（前脚1脚）
P22

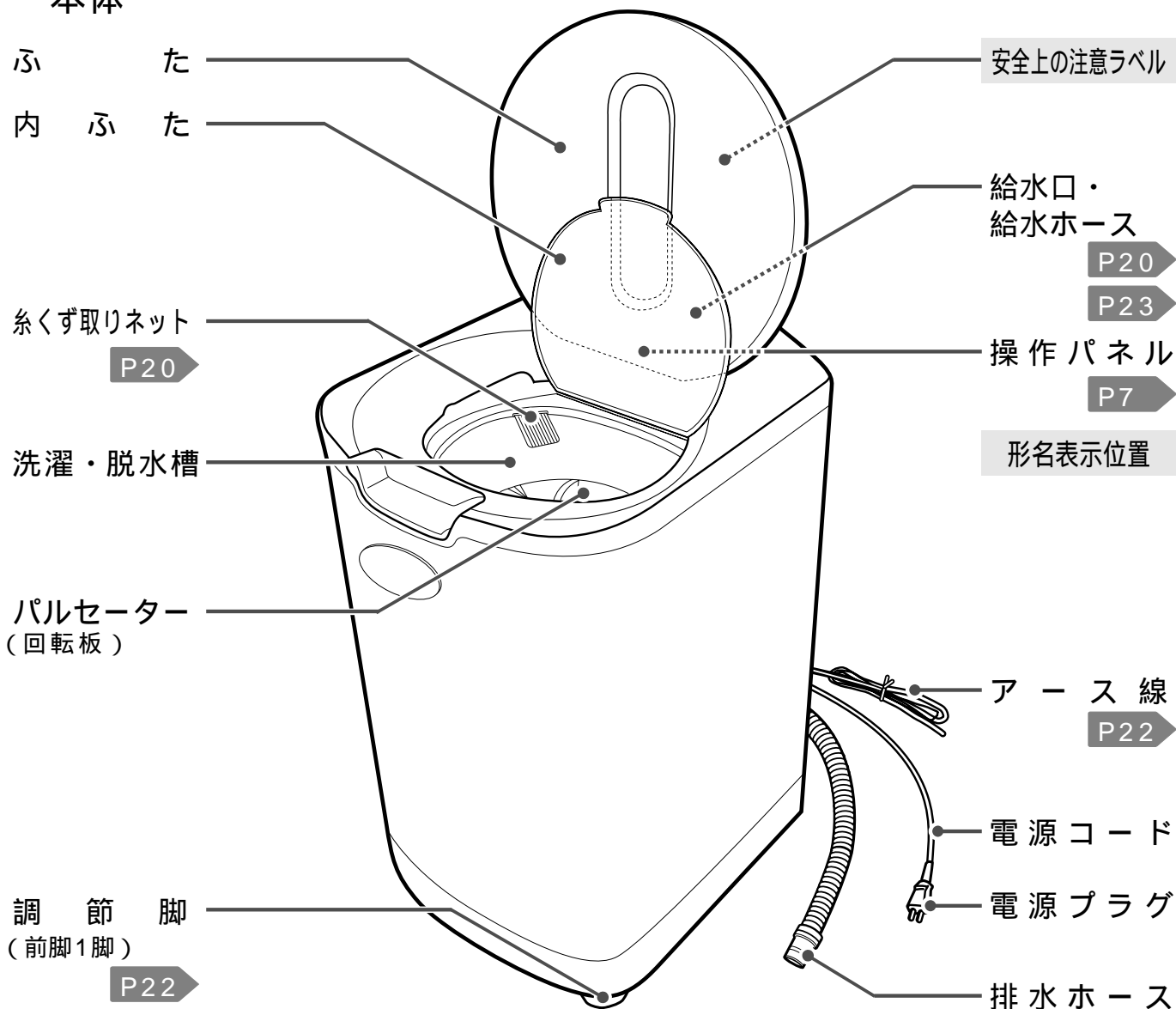
安全上の注意ラベル

給水口・
給水ホース
P20
P23

操作パネル
P7

形名表示位置

アース線
P22

電源コード

電源プラグ

排水ホース

■付属品

＊付属品を新たに購入したい場合は、お買い上げの販売店または、東芝家電ご相談センターにご相談ください。

ホース継手付給水ホース1個
排水ホース1個
排水ホースバンド1個

■ふたの開けかた

ふたの下面に手を入れ、図のようにグリップを手前方向に引きながら、上部に開けてください。

操作パネルのみかた

行程表示

●現在運転中の行程を点滅で、残りの行程を点灯で表示します。

チャイルドロック表示

●設定するとランプが点滅します。

P5

表示部

スタート後

●洗濯終了までの残り時間目安を表示します。

残り（分）42

運転中に不具合が生じたとき

●エラー表示をします。 dE

P26

水位

- 水位 を押してお好みの水位に設定してください。
- 水位 を押すと水位が低くなる方向に表示が移動します。

コース

- 洗濯物に応じてコースを選択してください。ボタンを押すとランプが点灯します。
- 洗濯コースのほかに、洗いだけ、すすぎだけ、脱水だけ、からりと脱水だけが選べます。

電源

- 電源の「入」「切」をします。
- 運転終了後約6秒後、または電源を入れて運転しない場合3分後、自動的に切れます。

スタート・一時停止

- 洗濯を始めるときに押します。
- 途中で運転を止めるときに押します。

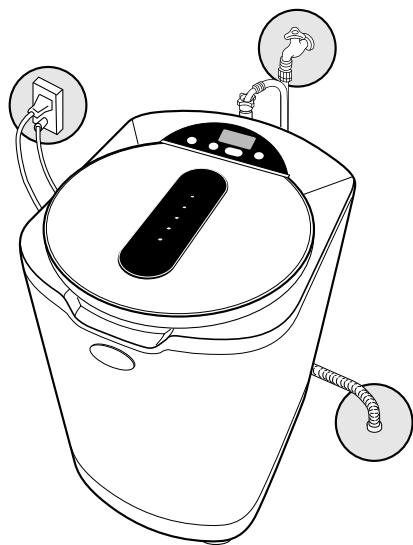
■操作音について

ボタンを押すごとにブザーが鳴り、設定が順送りされます。

洗濯の前に

洗濯機の準備

1 **アースと電源プラグを取り付ける** P22

2 **給水ホースを取り付け、水栓を開く** P23

3 **排水ホースを排水できる状態にする** P24

＊ふろ水を利用するときは「ふろの残り湯を使うとき」をごらんください。P19

お願い

糸くず取りネットは必ず取り付けて運転してください。

糸くず取りネットを取り付けずに運転すると水はねがひどくなったり、取り付け部に衣類が引っかかり衣類を傷める場合があります。

⚠警告

引火物は洗濯・脱水槽に入れない

灯油・ガソリン・ベンジン・シンナー・アルコールなどやそれらの付着した洗濯物は入れないでください。爆発や火災の原因になります。

引火物禁止

洗濯物について

衣類の取扱い絵表示を確認し、洗濯物にあったコースを選ぶ

…「標準（常温）」「温水洗い（30℃）」コース

…「除菌洗い（60℃）」コース

…「ウール」コース

洗濯量について

■洗濯量は

JISで規定された布を洗濯したときの洗濯量です。洗濯物の種類・大きさ・厚さなどにより洗える量が変わります。洗濯物の動きが悪い場合は洗濯物の入れすぎです。

■洗濯量の目安

衣類のおよその洗濯量を覚えて、入れすぎないようにしてください。
洗濯物によって洗濯できる量が異なります。

- 普通の洗濯物は3.0kg以下
- シーツは3枚約1.5kg以下
- レースのカーテンは約1.0kg以下
- バスタオルは約2.0kg以下

ブリーフ（約50g）　アンダーシャツ（約130g）　Yシャツ（約200g）　シーツ（約500g）

くつした（約50g）　パジャマ上下（約500g）　ブラウス（約200g）　バスタオル（約300g）

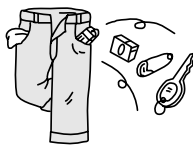
＊（ ）内は1枚の質量の目安です。

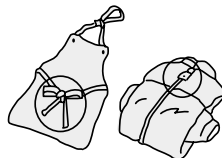
⚠注意

防水性のシート、マット、衣類（※）、水を通しにくい繊維製品は洗濯や脱水をしない

洗濯物が飛び出したり脱水中に異常振動し、けがをしたり、洗濯機、壁、床などの破損、衣類の損傷などの恐れがあります。
※サウナスーツ、雨ガッパ、釣具用上着・ズボン、スキーウェア、寝袋、オムツカバー、ウェットスーツ、自転車・バイク・自動車カバーなど。

洗濯物の準備について

●ポケットの中に何も入っていないことを確認する

●衣類についてるドロや砂は、ブラシなどでよく落とす

●ひもは結んで、ファスナーは閉めるマジックテープは止める

＊衣類やファスナーの傷みを防ぐためです。
マジックテープは止めておかないと糸くず取りネットや衣類にくっつき傷める原因になります。

●飾りや付属品のある衣類、コーデュロイなど起毛素材の衣類は裏返す
＊衣類の傷みや毛玉、糸くずを防ぐためです。

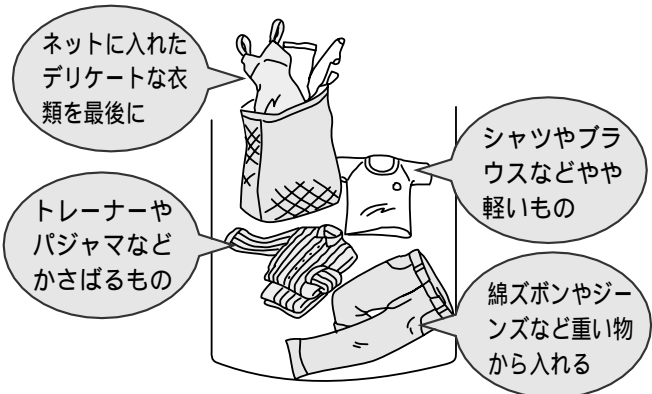
●デリケートな衣類（レースのついた衣類,ブラジャー,ストッキング,タイツなど）は洗濯ネットに入れる

●糸くずが気になるものは、タオル,バスタオルとは分けて洗う
または市販の糸くず防止ネットに入れて洗う

●色物と白物は分けて洗う
＊他の衣類への色移りを防ぐためです。

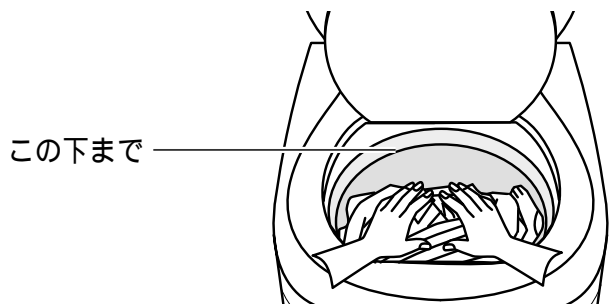
●汚れのひどい所や、シミは部分洗い用洗剤をぬっておく

洗濯物の入れかた

■大物や水に浮きやすい物から先に入れる

水に浮きやすい衣類の例

●ジャンパーなど表地や裏地が化繊１００％の衣類
●フリースなど化繊１００％あるいは混紡衣類
（化繊とはポリエステル,アクリル,ナイロンなどのことです。）

洗濯機で洗える表示であっても、枕･座布団・クッションなど給水後に上から押さえても洗剤液がしみこまないものは洗濯できません。脱水時に洗濯物が飛び出すことがあり、異常の原因となります。

■洗濯物はできるだけ均一に入れ、よく押し込む

■型くずれの気になる衣類や、かさばる物は単独で洗う

■洗濯中に衣類を追加するときは

必ず「一時停止」を押し、運転が止まってから衣類を入れてください。このとき洗濯物を上から押さえて十分洗剤液を含ませてください。

洗濯コース／洗濯用剤量の目安

■洗濯コース

コース	洗い（約）	すすぎ（約）	脱水（約）	所要時間（約）
標準（常温）	15分	ためすすぎ2回	9～11分	35～42分
除菌洗い（60℃）	2時間	ためすすぎ2回	9～11分	2.5時間
温水洗い（30℃）	30分	ためすすぎ2回	9～11分	1時間
ウール	7分	ためすすぎ2回	3分	23～26分
洗　い	15分	——	——	17分
すすぎ	——	ためすすぎ2回	——	12～14分
脱　水	——	——	11分	13分
からりと脱水	——	——	30分	33分

- 所要時間は給水時間（毎分15Lで計算）と排水時間を含んでいます。洗濯物の質や量、脱水時の洗濯物の片寄り、水道水圧、排水の状態により実際の所要時間は異なります。
- 除菌洗いと温水洗いの洗い時間は、水温20℃、洗濯物の量が3kgの場合の目安時間となります。

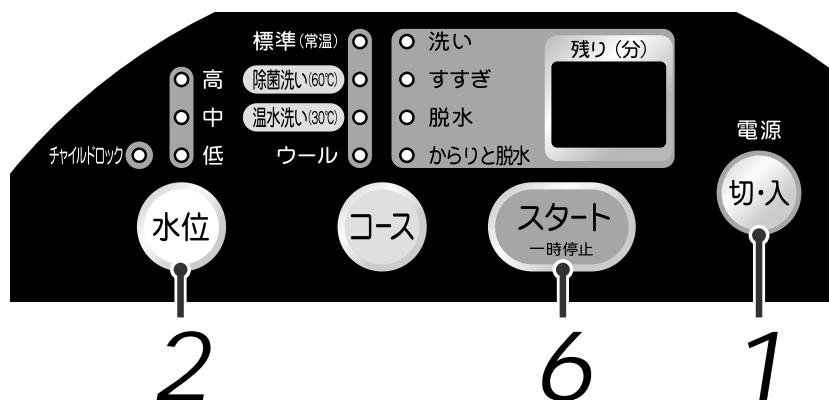
■洗濯用剤量の目安

洗濯量の目安	水位	洗剤量（スプーン）	合成洗剤			粉石けん	柔軟仕上剤	
			粉末洗剤	液体洗剤	液体中性洗剤	粉末洗剤		
			20g／水30L	20mL／水30L	40mL／水30L	40g／水30L	20mL／水30L	6.6mL／水30L
3.0kg	高	0.7	約26g	約26mL	約49mL	約49g	約26mL	約　8mL
1.5kg	中	0.5	約19g	約19mL	約33mL	約33g	約19mL	約　6mL
0.8kg	低	0.3	約11g	約11mL	約23mL	約23g	約11mL	約　4mL

- 洗剤量（スプーン）は粉末合成洗剤に同梱されているスプーン（スプーン1杯で水55Lの使用量）での洗剤量となります。洗剤の種類によりスプーン1杯の洗剤量が変わります。お使いの洗剤に合わせて洗剤量を加減してください。
- 粉末洗剤には合成洗剤と粉石けんがあります。粉石けんとは天然油脂よりつくられた洗剤です。洗剤の表示を見て確認してください。
- 洗剤は入れすぎないでください。入れすぎると泡がたちすぎたり、すすぎが不十分になります。

普段の洗濯

標準（常温）コース

洗いから脱水まで自動運転します。

■**給水について**

ふたが開いてると給水しません。衣類の量に対し、水量が適当かどうか確認したい場合は撹拌がはじまってから、ふたを開けて確認してください。

■**すすぎ給水中のブザー音について**

柔軟仕上剤を入れるタイミングをお知らせしています。ブザーが鳴ったら、1L程度の水で薄めた柔軟仕上剤を入れてください。薄めずにそのまま入れると衣類に柔軟仕上剤の色が付くおそれがあるので、必ず薄めてから入れてください。

1 電源を入れる

●「標準（常温）」と水位「高」が点灯します。

2 水位 を押して、水位を選ぶ

3 水位に合わせ洗剤を入れる

洗濯用剤量の目安 P10

4 洗濯物を入れる

洗濯量 P8

洗濯物の入れかた P9

5 内ふた・ふたを確実に閉める

●ふたを開けたまま運転すると給水が始まりません。

6 スタート 一時停止 を押す

洗濯終了 ブザーで洗濯の終了をお知らせ

●水栓を閉じ、糸くず取りネットを掃除してください。

除菌したいものの洗濯

除菌洗い(60℃)コース

おむつ、タオルなど除菌したい衣類の洗濯。
60℃の温水で洗濯します。

●加熱時間が必要なため、運転時間が長くなります。P10

※60°C洗浄コースにおける衣類の除菌について。

試験依頼先	(財)日本食品分析センター
試験成績書発行年月日	平成15年01月27日
試験成績書発行番号	第303010316-001号
試験方法	菌付着布の洗浄前後での菌数測定
除菌の方法	温水洗浄(60°C)

試験内容のお問い合わせは東芝家電ご相談センターまで(28ページ)

■洗い中のふた開について

●洗い中の水温が高いときにふたを開けると、安全のためにチャイルドロックの動作と同じように洗濯液が排水されます。P5
ふたを開ける場合は、必ず一時停止してから開けてください。

標準(常温)
除菌洗い(60℃)
温水洗い(30℃)
ウール
高
中
低
チャイルドロック
洗い
すすぎ
脱水
からりと脱水
残り(分)
電源
切・入
水位
コース
スタート 一時停止

3 2 6 1

1 電源を入れる

2 コース を押して「除菌洗い(60℃)」を選ぶ

3 水位 を押して、水位を選ぶ

4 水位に合わせ洗剤を入れ、洗濯物を入れる

洗濯用剤量の目安 P10
洗濯量 P8
洗濯物の入れかた P9

5 内ふた・ふたを確実に閉める

●ふたを開けたまま運転すると給水が始まりません。

6 スタート 一時停止 を押す

洗濯終了 **ブザーで洗濯の終了をお知らせ**

●水栓を閉じ、糸くず取りネットを掃除してください。

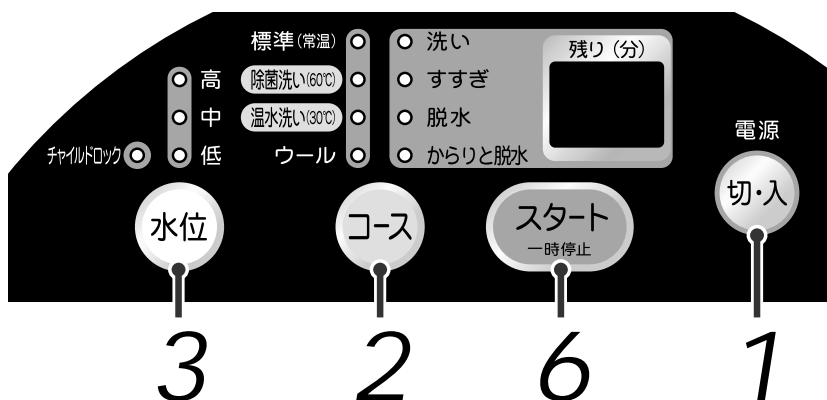
お願い

●衣類の取扱絵表示が 60 であることを確認してください。
●色落ちしやすい衣類は、温水で洗うとさらに色落ちしやすくなるため、温水洗いをしないでください。
色落ちの確認のしかた P15

汚れの多いものの洗濯

温水洗い（30℃）コース

汚れがひどい作業服、体操着、厚手の靴下、皮脂汚れのつきやすい肌着、ワイシャツなどの洗濯に。
30℃の温水で洗濯します。

●加熱時間が必要なため、運転時間が長くなります。 P10

1 電源を入れる

2 コース を押して「温水洗い（30℃）」を選ぶ

3 水位 を押して、水位を選ぶ

4 水位に合わせ洗剤を入れ、洗濯物を入れる

洗濯用剤量の目安 P10
洗濯量 P8
洗濯物の入れかた P9

5 内ふた・ふたを確実に閉める

●ふたを開けたまま運転すると給水が始まりません。

6 スタート 一時停止 を押す

洗濯終了 **ブザーで洗濯の終了をお知らせ**

●水栓を閉じ、糸くず取りネットを掃除してください。

お願い

●色落ちしやすい衣類は、温水で洗うとさらに色落ちしやすくなるため、温水洗いをしないでください。
色落ちの確認のしかた P15

デリケートな衣類の洗濯

ウールコース

セーター、ブラウス、ランジェリーなどデリケートな衣類をやさしく洗うコースです。

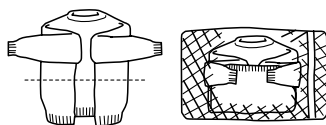
■洗える衣類の種類

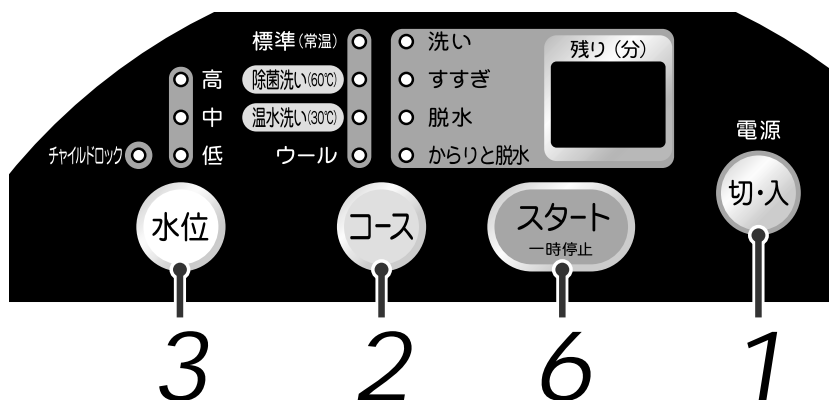
衣類の取扱い絵表示が 弱40 のセーターやデリケートな衣類。

■洗える量と水位の目安

高：1.5kg以下
中：0.5kg以下
低：0.2kg以下

■セーターを洗濯ネットに入れるときは

1. 裏返しにして、えり、そでなど、汚れたところが表に出るようにたたみます。
2. 1枚ずつ市販の目の粗い洗濯ネット（角型30×40cm）いっぱいになるように入れてください。

お願い

- ふろの残り湯、お湯は使用しないでください。
- 水に浮きやすい衣類は給水後に一時停止し、上から軽く押さえて十分洗剤液を含ませてください。
- 布傷みが気になる衣類は洗濯ネットに入れてください。

1 電源を入れる

2 コース を押して「ウール」を選ぶ

3 水位 を押して、水位を選ぶ

4 1L程度の水で薄めた洗剤を入れ、洗濯物を入れる

液体洗剤・柔軟仕上剤 P18

- 液体中性洗剤（毛糸・おしゃれ着洗い用、蛍光剤無配合のもの）を使用してください。
- 洗剤量は、各洗剤の取扱説明書に従ってください。
- 衣類は裏返しにしてください。

5 内ふた・ふたを確実に閉める

- ふたを開けたまま運転すると給水が始まりません。

6 スタート 一時停止 を押す

洗濯終了 **ブザーで洗濯の終了をお知らせ**

- 終了後すぐに取り出して形を整えて干してください。

色落ちの確認のしかた

色落ちしそうな衣類は、目立たないところに洗剤をつけて、白いタオルで強く押さえるようにして色落ちを確認してください。色落ちするものは洗わないでください。

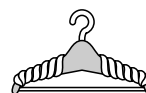
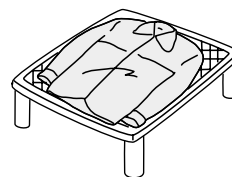
しみ抜き、部分洗い

えり、そでなどのがんこな汚れは、裏側にタオルを当て、汚れの周りから水でぬらし、液体中性洗剤（毛糸、おしゃれ着用、蛍光剤無配合のもの）を付け、タオルなどでこすらずにやさしく押さえます。部分洗い用洗剤を使う場合は、必ず蛍光剤無配合のものを使ってください。

（
- パーマ液など化学変化したシミ、鉄さび・かび・墨汁・インク・口紅・日光などで黄変・変色したものは落ちないことがあります。
- シミは、放置すると落ちにくくなりますので、できるだけ早く処置してください。
）

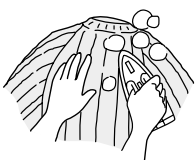
陰干し（乾燥）●必ず風通しの良い日陰に干します。

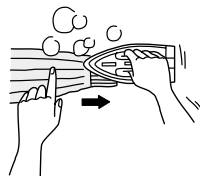
手のひらで軽くたたいてシワを伸ばし、形を整えて干します。
セーターなどは平干ししてください。

- 脱水が足りないと感じたときは、バスタオルなどで衣類をはさみ、押さえて水気をとってください。
- 衣類乾燥機で乾かす場合は、おしゃれ着乾燥ができる衣類乾燥機以外は使用しないでください。

ハンガーにタオルを巻いて、肩幅に合わせて使ってください。

上手なアイロンのかけかた ●アイロン仕上げは、その取扱説明書に従ってください。

■セーターなどの場合

全体仕上げ

アイロンのかけ面が触れる程度で、全体にスチームをかけます。

そで口などの部分仕上げ

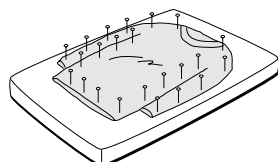
タテ方向に引っぱりながら形を整えます。伸びきったゴム編み部分にはたっぷりスチームをかけます。

当て布の使いかた

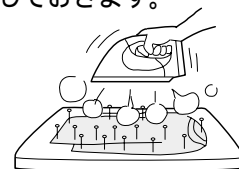
- 刺しゅう、ビーズのついたもの、スカートやスラックスには当て布をしてください。

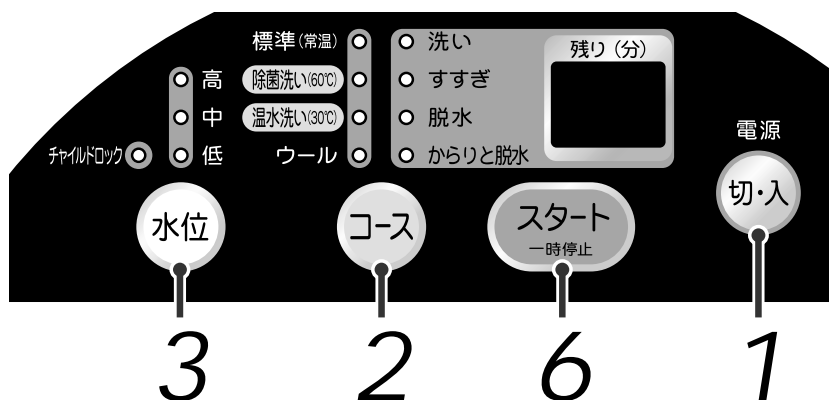
＊押さえがけするとセーターの風合いがそこなわれます。

もし、縮んでしまったときは

ウール、麻などは縮みやすい繊維ですが、洗濯で縮んだものは、次の方法である程度伸ばすことができます。衣類を購入したときに型紙を取っておくと便利です。

1 乾燥した衣類を広いアイロン台にのせ、伸ばしたい寸法に広げてマチ針を打ちます。

2 スチームアイロンを浮かしてスチームをたっぷりかけ、乾くまでそのままの状態にしておきます。

いろいろな洗濯

お好みの洗濯

洗いだけ・脱水だけをしたり、すすぎ水の再利用など、「標準(常温)」コースでお好みの洗濯ができます。

■運転中のコースの変更について

● (スタート 一時停止)を押した後は、コースの変更はできません。
電源を入れ直し、設定し直してください。

1 電源を入れる

2 (コース)を押し、お好みの内容にする

洗濯液を再利用するとき あらかじめ洗剤を溶かすとき	洗いのみ	● 洗い ○ すすぎ ○ 脱水 ○ からりと脱水
洗ったものをすすぐとき (すすぎの前に脱水を行います)	すすぎのみ	○ 洗い ● すすぎ ○ 脱水 ○ からりと脱水
脱水だけ行うとき (脱水の前に排水します)	脱水のみ	○ 洗い ○ すすぎ ● 脱水 ○ からりと脱水
※洗濯・脱水槽の水を排水したいとき	排水のみ	

3 (水位)を押して、水位を選ぶ

●脱水のみのときは水位が選べません。

4 水位に合わせ洗剤を入れ、洗濯物を入れる

洗濯用剤量の目安 P10
洗濯量 P8
洗濯物の入れかた P9

5 内ふた・ふたを確実に閉める

●ふたを開けたまま運転すると給水が始まりません。
※排水のみのときはふたを開けておきます。

6 (スタート 一時停止)を押す

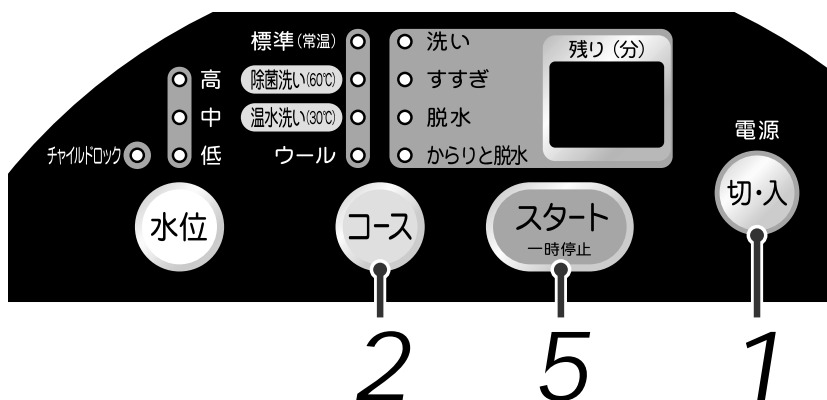
洗濯終了 **ブザーで終了をお知らせ**

●水栓を閉じ、糸くず取りネットを掃除してください。

しっかり脱水したいとき

からりと脱水コース

「からりと脱水」は30分間脱水を行うので、通常の脱水に比べしっかり脱水します。

- 仕上がり具合は洗濯物の種類・室温などで変わります。

■からりと脱水できない衣類

- 「からりと脱水」は脱水時間が長いので、次の衣類は「からりと脱水」しないでください。
  - 色落ちしやすい衣類
  - 取扱い絵表示 ヨワク がある衣類
  - しわが気になる衣類（ブラウス・綿100%・シャツなど）
  - 型くずれしやすい衣類
  - 防水性の衣類
  - 「ウール」コースで洗う衣類
  - 掛けふとん・毛布

1 電源を入れる

2 コース を押して「からりと脱水」を選ぶ

3 洗濯物を入れる

- 衣類はほぐして片寄らないように入れてください。

洗濯量 P8
洗濯物の入れかた P9

4 内ふた・ふたを確実に閉める

- ふたを開けたまま運転すると、運転しません。

5 スタート 一時停止 を押す

洗濯終了 ブザーで終了をお知らせ

知っていると便利

■柔軟仕上剤を使うとき

使用量および使用方法は、柔軟仕上剤の説明書をよく読んで正しくご使用ください。

柔軟仕上剤はすすぎ給水中にブザーが鳴った時に入れていただくか P11 **、洗濯が終了してから次の手順に従ってお使いください。**

1. 電源を入れたら コース を押して「洗い」を選ぶ。
2. 水位 を押して水位を選ぶ。
3. 1L程度の水で薄めた柔軟仕上剤を洗濯・脱水槽に入れ、洗濯物を入れる。
   ●柔軟仕上剤を薄めずにそのまま入れると、衣類に柔軟仕上剤の色がつくおそれがあるので、必ず薄めてから入れてください。
4. 内ふたを・ふたを閉め、 スタート 一時停止 を押す。
5. 洗いが終了したら電源を入れ、 コース を押して「脱水」を選ぶ。
6. スタート 一時停止 を押す。

■液体洗剤・漂白剤を使うとき

使用量および使用方法は、液体洗剤、漂白剤の説明書をよく読んで、正しくご使用ください。

液体洗剤・液体漂白剤

液体洗剤・液体漂白剤は、1L程度の水で薄めてから洗濯・脱水槽に入れます。

粉末漂白剤

洗濯物を入れる前に白いタオルに粉末漂白剤を包み、パルセータの上に乗せてください。

塩素系漂白剤

- 塩素系漂白剤を使用するときは、1L程度の水で薄めてから洗濯・脱水槽に入れます。
- **直接洗濯・脱水槽に入れたり、洗濯物にかけないでください。変色、布傷み、破れの原因になります。**

お願い

●操作パネル部にこぼさないようにしてください。こぼしたときは、すぐにふきとってください。

■ふろの残り湯を使うとき

1 洗剤・洗濯物を入れる。

2 ふろ水給水ポンプやバケツなどでふろの残り湯を洗濯物が完全につかるまで入れる。

3 内ふた・ふたを閉め、電源を入れ、「コース」と「水位」を選び、(スタート 一時停止)を押す。

- 設定水位に達していない場合は、水栓から給水されます。
- すすぎは水栓からの水で自動的に行います。

■入浴剤や浴室用洗剤の入った残り湯の利用

入浴剤や浴室用洗剤が入った残り湯は、成分により洗濯・脱水槽を傷めたり、衣類に色が移る恐れがありますので、入浴剤や浴室用洗剤の取扱説明書をよくお読みください。

■粉石けんを使うとき ＊粉石けんを使用するときは、あらかじめ溶かしてから使用してください。

粉石けんの溶かしかた

- 30℃前後のぬるま湯約5Lを別の容器（バケツなど）に用意し十分かき回しながら（水が少ないと固まることがあります）、粉石けんを少しずつ入れます。

- 粉石けんが固まったり、粒が残ったりしないよう十分溶かしてから洗濯・脱水槽へ入れます。

- 粉石けんは合成洗剤に比べ洗濯物に残りやすいのでよくすすいでください。よくすすがないと、黄ばみや石けんの臭いがつく原因となります。P16
- 粉石けんの使用量が多すぎたり、低温の水に直接入れたりすると、石けんカスが洗濯・脱水槽の内側に付着します。この石けんカスは洗濯中に浮きあがると洗濯物を汚すことがあります。1ヶ月に1度、洗濯・脱水槽を掃除してください。P21

■凍結の恐れがあるとき

洗濯・脱水槽・排水ホース・給水ホースの水を十分に抜いてください。

●もし凍結してしまったら

給水ホースの場合

40℃以下のお湯につけます。

- 凍結したホースを無理に曲げないでください。破損する恐れがあります。

本体の場合

洗濯・脱水槽にお湯（40℃以下）をパルセーター（回転板）が全部つかるまで入れ、30分程度放置し、パルセーターが手で回ることを確かめてください。

お手入れ

⚠ 警告

改造はしない
修理技術者以外の人は分解したり修理しない

火災・感電・けがの原因になります。
修理は、お買いあげの販売店または、東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。

分解禁止

お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く

感電やけがをすることがあります。

プラグを抜く

本体各部に直接水をかけない

感電・ショートすることがあります。

水かけ禁止

⚠ 注意

電源プラグを抜くときはコードを引っ張らない

電源プラグを持って引き抜いてください。感電やショートして発火する恐れがあります。

引っ張り禁止

運転中の洗濯機の下に手などを入れない

回転部がありけがをする恐れがあります。

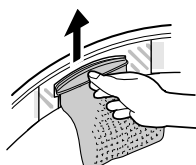
手などを入れない

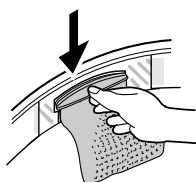
糸くず取りネットは

お洗濯のつど、きれいにしてください。
糸くずがたまったまま使用しますと、ネットが破れやすくなり、また糸くずが取れにくくなります。

- 糸くず取りネットは消耗品です。ネットが破れたときは販売店でお買い求めください。P25

■はずしかた

ネットを取りはずします。

■取り付けかた

上下方向を確認して、カチッと音がするまで確実に取り付けます。

お願い

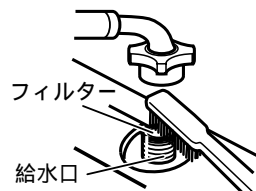
- 糸くず取りネットがはずしにくい位置にある場合は、電源を入れ、コースを押して「脱水」を選び、内ふた・ふたを開けたままスタートします。 表示が出たら、洗濯・脱水槽を手で回して取りはずしやすい位置まで動かし、電源を切ります。

本体やパネルの汚れは

柔らかい布でふきとってください。
汚れがひどいときは、台所用洗剤をしみこませた布でふいてください。

- 台所用洗剤以外の化学雑巾、ベンジン、シンナー、クレンザー、住宅用・家具用合成洗剤などは使用しないでください。変色や傷、破損の原因になります。

給水時、水の出が悪くなったときは

給水口にゴミなどがつまっていることがあります。給水ホースをはずし、フィルターを歯ブラシなどで掃除してください。

- フィルターがはずれないように注意してください。
- 給水ホースをそのままはずすと水が飛び散りますので、次の手順で水抜きを行ってください。

■給水ホースのはずしかた

1 水栓を閉じる。

2 電源を入れ （スタート 一時停止） を押す。
- 内ふた・ふたは閉めてください。

3 数秒後に洗濯機本体側のナットをゆるめてはずす。

洗濯・脱水槽（ステンレス槽）の掃除は

汚れや水質により洗濯・脱水槽に汚れが付着し、においや排水不具合の原因になることがあります。また、付着した汚れが洗濯中にはがれ洗濯物を汚すことがあります。下記の場合などは、1ヶ月に1回程度槽洗浄を行ってください。また「のりづけを行った」場合は洗濯・脱水槽に付着したのりを落とすために次の手順に従って槽洗浄を行ってください。

●粉石けんを使用している。
●洗剤を多めに入れている。

お願い

- 連続して槽洗浄を行わないでください。
- 洗濯・脱水槽の汚れがひどい場合は別売の洗濯機専用の洗濯槽クリーナー塩素系（部品コード90004003）を約半分の量ご使用ください。使用方法は洗濯槽クリーナーの説明書に従ってください。

■槽洗浄のしかた

1 電源を入れる。

2 コース を押して「温水洗い（30℃）」を選ぶ。

3 スタート 一時停止 を押す。

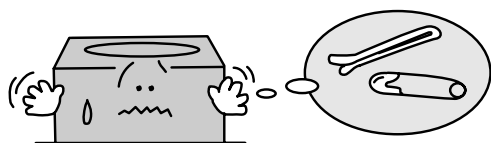
4 給水が終了したら塩素系漂白剤を約200mL入れる。
●衣類は入れないでください。

5 内ふた・ふたを閉める。
●ふたが開いていると運転が始まりません。

槽洗浄終了　●ブザーで終了をお知らせ。

■ステンレス槽のさび（もらいさび）について

クリームクレンザーをスポンジか布につけて、さびを取り除いてください。
※金属たわしなどは洗濯・脱水槽を傷つけ、さびやすくなりますので使用しないでください。

ステンレス槽はさびにくい性質がありますが、万一のさびの発生を防ぐため、次のことをお守りください。

●ヘアピンなどのさびやすい鉄製品を洗濯・脱水槽に入れたままにしないでください。
●断水後は鉄さびを多く含んだ水が出て鉄さびが付着することがあります。きれいな水が出るようになってから使用してください。

据え付け

正しく据え付けしないと振動や騒音が大きくなったり、途中で止まる原因になります。必ず水平に据え付けてください。

据え付け場所

⚠ 警告

浴室や風雨にさらされる場所には設置しない

感電や漏電による火災の原因となります。

水場での使用禁止

⚠ 注意

洗濯の前に蛇口を開いて、給水ホースの接続部分の緩みや水もれのないことを確認する

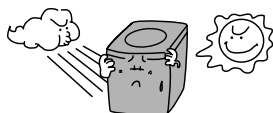
ねじやホース接続部などの緩みがあると、水もれして思わぬ被害を招くことがあります。

水もれ確認

しっかりした水平な床に据え付けます。

ブロックや角材・レンガの上など不安定な所には据え付けないでください。振動や騒音が大きくなります。
防水パンをご使用ください。

直射日光のあたる場所はさけます。

プラスチック部品の色や形が変わることがあります。

冬期凍結するおそれがある場所はさけます。

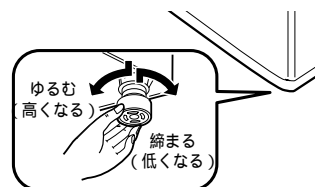
本体は背面や左右の壁から５cm以上離します。水栓からもそのくらい離してください。

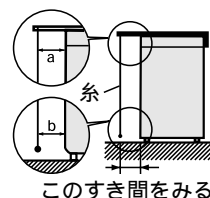
異常な振動や音を防ぐためです。

据え付けかた

本体を水平に据え付けるために調節脚（前側１脚）を調節します。

■調節脚の使いかた

調節脚を回してがたつきを調節します。
調整後、本体の対角を押え、がたつきがないか確認してください。

■水平の確認のしかた

※水準器などで、本体が水平に設置されていることを確認してください。水準器がない場合の確認方法の例を紹介します。おもりをつけた長さ70cmの糸を下げます。
ａとｂの差を0.5cm以下にします。

アース線の取り付け

⚠ 警告

アース線が取り付けられているか確認する

故障や漏電のときに感電する恐れがあります。アース線の取り付けは、電気工事店または販売店に相談してください。

アース線の接続を確認する

感電事故防止のためにアース線を取り付けてください。
アース線を取り付けるときは電源プラグをコンセントから抜いた状態で接続してください。
次のようなところにはアース線を接続しないでください。（法令等で定められています。）

- ガス管……爆発や引火の危険があります。
- 電話線や避雷針……落雷のとき危険です。
- 水道管……途中がプラスチックの場合はアースになりません。

■アース端子付コンセントを使うときは

アース線の先端をアース端子に確実に接続してください。

■アース端子がないときは

販売店・電気工事店にご依頼ください。
法令により、電気工事士によるＤ種接地工事が必要です（費用は有料です）。

給水ホースの取り付け

取り付けを確実にしないと水もれの原因になります。ワンタッチ給水栓ジョイントがすでに水栓に取り付けられている場合は、必ず別売の「給水栓ジョイント」（CB-J6）に交換してください。 P25
交換しないと給水ホースが外れて思わぬ被害を招くことがあります。

※ 給湯設備には取り付けないでください。
※ 取り付けが確実にできなかったり、水もれが発生する場合は、お買いあげの販売店または、東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。 P28

■水栓の形状の確認

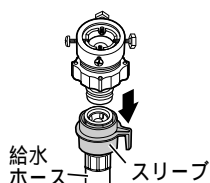
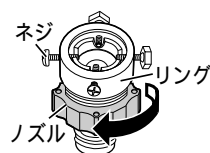
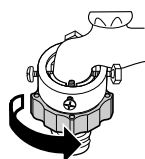
横水栓が適しています。

万能ホーム水栓の場合は、給水ホースを右図のようにしっかり取り付けてください。

- 自在水栓は水もれの原因になるため必ず、別売の「給水栓ジョイント」（CB-J6）を使用してください。
- 水栓が合わない場合は、お買いあげの販売店にご相談ください。
- 洗濯機専用水栓の設置には、別売の「分岐水栓」（JB-11）の利用をおすすめします。

- 水栓は洗濯終了後、必ず閉じてください。

■ホース継手の取り付け

1 給水ホースのスリーブを引き下げて①、ホース継手からはずします。

2 ホース継手の4本のネジをゆるめ、ノズルを矢印の方向に回し、リングとノズルのすき間が5mm以上になるようにします。

3 水栓蛇口に押し当て、ネジ4本を均等に締め付けます。
壁側になるネジ1本を前もって調整しておくと取り付けやすくなります。

4 継手シールをはがし、ノズルを矢印方向へ回して、しっかり締め付けます。

5 ノズルとリングのすき間が2mm以下になっているかを確認します。

- ノズルとリングのすき間が広いと水もれの恐れがあります。
- 使用中水もれした場合は、さらに締め付けてください。
- 引っ越しなどで再び継手を取り付ける場合は、ノズルとリングのすき間が約5mmになるように、ノズルをゆるめてから、上記内容に従って取り付けてください。
  水もれを防ぐためです。
- ネジやノズルをさらに締め付けたり、付け直しても不具合があるときは、ホース継手を取り換えてください。
- ホース継手と給水ホースは必ずセットでご使用下さい。セットでご使用いただかないと、水もれの恐れがあります。

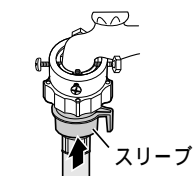
■給水ホースのつなぎかた

1 スリーブを引き下げたまま給水ホースを差し込みます。

2 スリーブを離し“パチン”と音がするまで押し上げます。

3 ホースを下に引いても抜けないことを確認します。

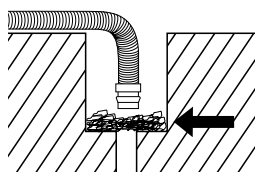
4 給水ホースの先についている給水口ナットを洗濯機本体の給水口にしっかり締め付けます。

5 水栓を開き、水もれがないか確認する。

お願い

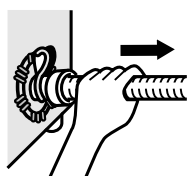
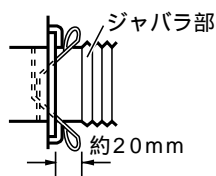
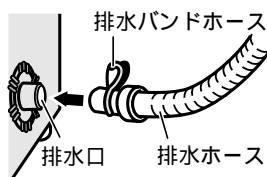
- 水もれするときは、お買いあげの販売店または、東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。
- 一度水を通してからホースをはずすときは水が飛び散りますので、P20を参照してください。
- 給水ホースの延長には別売の「給水延長ホース」と「ホース継手」（部品コード42044551）をご使用ください。
  給水延長ホース
  （長さ0.5m、部品コード42040662）
  （長さ　1m、部品コード42040663）
  （長さ　2m、部品コード42040664）
  （長さ　5m、部品コード42040665）P25

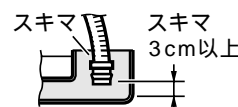
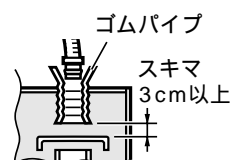
排水ホースの取り付け

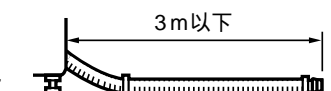
排水ホースの処理が正しくないと、排水に時間がかかったり、途中で止まったり、水もれの原因になります。
排水口の位置と排水口にゴミがたまっていないか確認して下さい。

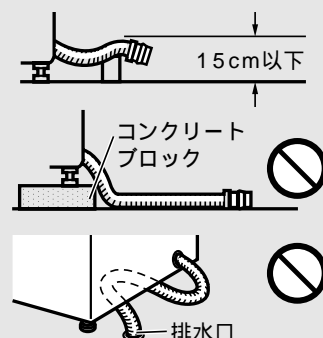
- ごみがたまっていると水があふれます。ごみを取り除いてください。

- 排水ホースは洗濯機の排水口にいっぱいまで差し込み、付属の排水ホースバンドでしっかり止めます。
  外箱と排水ホースのジャバラ部とのスキマが約20mmになっているか確認します。

※ 取り付けが不十分な場合は水もれの原因になります。

- ホースは伸縮式のため、必要に応じて長さを調節してください。引き伸ばすと最長約110cmまで伸びます。引き伸ばすときは、必ず取り付け部に手を添えてください。（水もれのおそれがあります。）

■ご家庭の排水口について

- 排水ホースを排水口に差し込むときは、ホースの先にスキマをもたせます。

- 防水パンの場合、ゴムパイプの先にスキマをもたせてください。

■排水ホースの延長

別売の「排水延長ホース」（部品コード42040679）をご使用ください。
平たんな場所で3mまで延長することができます。
ホースは水が流れやすいようにしてください。

お願い

- 敷居や排水ホースが高いと排水できないことがあります。
- ホースのこすれに注意してください。また、ホースを洗濯機の下に入れないでください。ホースに穴があく恐れがあります。

別売部品

部品名	部品コード・型名	部品名		部品コード・型名
糸くず取りネット	42044624	ホース継手 （給水延長ホースを使用する場合）		42044551
分岐水栓	JB-11			
給水栓ジョイント	CB-J6	給水延長ホース	長さ 0.5m	42040662
排水延長ホース1.2m	42040679		長さ　1m	42040663
洗濯機トレー	TZ-10		長さ　2m	42040664
洗濯槽クリーナー	90004003		長さ　5m	42040665

仕　様

種　　類	全自動電気洗濯機	標準洗濯容量	3.0kg
電　　源	100V，50Hz／60Hz共用	標準水量	28L
電動機の消費電力	185W(50Hz)／230W(60Hz)	標準使用水量	79L
電熱装置の消費電力	900W	水道水圧	0.05～0.78MPa （0.5～8kgf/cm²）
製品質量	26kg		
外形寸法	幅450mm×奥行540mm×高さ810mm	洗濯方式	うず巻式

お困りのときは

「パネル部の表示がおかしい」「途中で止まる」「操作ボタンを押しても動作しない」ときは、外部からの雑音や妨害ノイズの影響を受けている場合があります。電源プラグを抜き、再び差し込んで動作を確認してください。

⚠警告

改造はしない　修理技術者以外の人は分解したり修理しない

火災、感電、けがの原因になります。
修理は、お買いあげの販売店または、東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。

分解禁止

こんなときは	調べるところ
運転しない	● 停電していませんか。 ● ご家庭のヒューズ・ブレーカーが切れていませんか。 ● 電源プラグはきちんと差し込まれていますか。 ● 電源「入」を押しましたか。 ● スタート／一時停止ボタンは押しましたか。
水もれ	● 水栓の形状は適していますか。 ● ホース継手のネジやノズルがゆるんでいませんか。 ● 給水口ナットが傾いていたり、締め付けがゆるんでいませんか。 ● 給水口にゴミがつまっていませんか。 ● 付属品と異なるホース継手を使用していませんか。 ● 排水ホースがはずれたり、破れていませんか。 点検してください。 給水口ナット P23 排水ホースはずれ P24 継手 P23
異常音が出る 振動が大きい	● 洗濯機が傾いていたりガタついていませんか。 据え付けが不安定だと脱水の振動や音が大きくなります。 ● 排水ホースは正しく処理されていますか。 ● マッチ棒、ヘアピン、金属物と一緒に洗っていませんか。 ● 電源コードやアース線、給水ホースが洗濯機に当っていませんか。 ● 脱水の振動で音が大きくなります。

※点検しても直らない場合は、お買いあげの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。P28

表示部にこんな表示が出たら

こんなときは	調べるところ	運転の再開は
5E	排水ホースに次のような異常はありませんか。 ● 排水ホースは正しく取り付けてありますか。 ● 排水ホースがつぶれていませんか。 ● 排水ホースを倒してありますか。 ● 凍結していませんか。 ● 排水ホース先端が水につかっていませんか。 ● 排水ホースに砂やどろ、糸くずなどが詰まっていませんか。	点検後 スタート/一時停止 を押してください。
UE	● 洗濯物が片寄っていませんか。 ● 洗濯機がガタついたり、傾いた床面に置いていませんか。	洗濯物の片寄り、洗濯機のガタつきを直したあとふたを閉めてください。
4E	● 水栓が閉じていませんか。 ● 水道が凍結したり断水していませんか。 ● 給水口の網にごみがたまっていませんか。	スタート/一時停止 を押してください。
dE	● ふたが開いていませんか。	ふたを閉めてください。
88	● チャイルドロックが設定されていませんか。P5 ●「除菌洗い(60℃)」コースではありませんか。P12	電源を切り、やり直してください。

※上記以外の表示や点検しても直らない場合は、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。P28

こんなときは故障ではありません

行程	状態	理由
運転前	初めて使用するとき **排水ホースから水がでる**	●工場の性能テスト時の残水です。
洗い	**水が入ってこない**	●ふたが開いていると給水が始まりません。ふたを閉めてください。
	洗濯途中で給水する	●洗濯中に水位が下がると、自動的に水が入ります。
	ブザーが鳴り、洗濯液が排水された	●チャイルドロックが設定されていて、ふたを開けたまま運転したためです。 P5 ●「除菌洗い（60℃）」コースで洗いの水温が高いためです。 P12
すすぎ	**すすぎからスタートすると水が入ってこない**	●洗濯・脱水槽内に水がないときは衣類に含まれている水や洗剤分を出すために脱水から始まります。脱水後に給水します。（洗濯・脱水槽内に水があるときは排水から始まります。）
脱水	脱水したのに **よくしぼれていない**	●全自動洗は二槽式洗濯機よりやや脱水が弱くなります。タオルケットの厚手の部分など脱水ムラになることがあります。 もう少し、しぼりたいときは「からりと脱水」を行ってください。 P17
	脱水の途中で **突然給水したりすすぎになる** **洗濯時間が長くなる**	●洗濯物が片寄って、安全スイッチが働いたためです。給水･撹拌運転を行い、衣類の片寄りをほぐしたあともう一度脱水します。また、粉石けん使用時等で排水経路が汚れたときも同様の症状になります。 ※上記修正を3回繰り返しても直らない場合はエラー表示し、ブザーが鳴ります。
	脱水運転が始まらない	●脱水中にふたをあけたり、一時停止してから再スタートさせたときは、排水弁が開くまで脱水運転が始まりません。また、停止後すぐにスタートさせるときは、安全のため少し休止時間があります。
	脱水中にふたを開けるとブザーが鳴る	●安全のため、洗濯・脱水槽が止まるまでブザーが鳴り続けます。
	脱水時、モーター音がする	●間欠運転の繰り返しで、音が発生しますが故障ではありません。
	操作パネル部分が熱を持つ	●電子部品の放熱作用によるものです。
その他	**鉄さびを多く含んだ水が出る**	●断水した後は、水がきれいになるのを待ってから使用してください。鉄さびを多く含んだ水で洗濯すると洗濯物が黄ばむ場合があります。白い洗濯物に鉄さびが付着したときは、市販の還元漂白剤（ハイドロハイターなど）をお使いください。色柄の場合は使用できません。
	テレビに線が入る **ラジオに雑音が入る**	●テレビやラジオから3m以上離してください。
	照明がちらつく	●「洗い」「すすぎ」のときに照明がちらつくことがありますが、これは屋内配線の抵抗など電源事情によるものです。照明のちらつきはインバーター蛍光灯にすると多少改善されます。
	排水中ゴボゴボと音がする	●水に空気が混ざり合う音です。洗濯機の排水経路から出ている音で異常ではありません。
	オートパワーオフしない	●エラー表示などが出ていませんか。 表示を確認してください。 P26
	洗剤が衣類や糸くずフィルターに残る	●水温が低い（10℃以下）と洗剤が溶けにくくなります。 化繊など水に浮きやすい衣類やジーンズのように生地が厚く堅いものは洗濯・脱水槽の上部にあると洗剤が残りやすくなるので、下の方に入れてください。 洗剤残りが気になる場合は、ふろの残り湯を利用するなどしてください。 P19
	衣類に糸くずが付着する	●水位「中」と「低」は糸くずが取れにくいので、気になる場合は水位「高」で運転してください。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点はお買い上げの販売店にご相談ください。

ご転居あるいはご贈答品などで販売店に修理のご相談ができない場合

東芝家電修理ご相談センター

フリーダイヤル **0120-1048-41**

新製品などの商品選び、お取り扱い・お手入れなどのご相談

東芝家電ご相談センター

フリーダイヤル **0120-1048-86**

携帯電話・ＰＨＳからのご利用は **03-3426-1048**
FAX **03-3425-2101**（365日・8：00〜20：00受付）

電話受付：３６５日･２４時間受付　※フリーダイヤルは、携帯電話・PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

保証書（別添）

● この東芝全自動電気洗濯機には、保証書を別途添付しております。
● 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
● 保証期間はお買い上げいただいてから1年間です。詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

● 全自動電気洗濯機の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年間です。
● 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

● 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
● 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは　出張修理

26〜27ページに従って調べていただき、なお異常があるときは、電源を切り使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しては保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎている場合は

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金の仕組み

修理料金は技術料・部品代・出張料で構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復させるための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

■ご連絡いただきたい内容

品　　名	全自動電気洗濯機
形　　名	AW-303B
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印等も合わせてお知らせください
お　名　前	
電話番号	
訪問希望日	
便利メモ	お買い上げの販売店名を記入されておくと便利です。 TEL.

廃棄時のお願い

2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの洗濯機を廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

愛情点検

★ 長年ご使用の洗濯機の点検を！

このような症状はありませんか。

● 洗濯・脱水槽が止まりにくい。
● 水もれする。（ホース、水槽、ホース継手）
● こげくさい臭いがしたり、運転中に異常な音や振動がある。
● 本体に触れるとビリビリと電気を感じる。
● 据付が傾いたりグラグラしている。
● スイッチを入れても、動かないときがある。
● 電源コード、プラグが異常に熱い。
● その他の異常・故障がある。

ご使用中止

このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

株式会社 **東芝** 家電機器社
〒105-8001　東京都港区芝浦1-1-1（東芝ビルディング）

Code No.：DC68-01688A